

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:児童デイサービスりっくす緑井

記入年月日:令和 5 年 1 月 16 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースの確保は出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか		○	必要な配置数は満たしているが、十分ではない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		トイレ等、バリアフリー化の配慮がされていない設備もある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	職員が広く参画できる仕組みは不十分。整えていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表やアンケート、また日々のやりとりから、保護者の意向を把握し、改善できる点があれば、その都度改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		HPにて掲載を行っている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修案内を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		年に1回更新を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	それぞれの活動を担当者が立案する形が多く、チームでの立案は十分に行われていない。チームでの立案ができる仕組みを整えていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		ある程度のパターンはあるが、固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇では、“時間割”として、利用者の意見を取り入れながらスケジュールや課題を設定している、
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用者の興味を持てるテーマを意識して個別課題を用意し、集団活動は運動レク、机上レクから利用者自ら選択し取り組む形をとっている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日々の昼礼等で打ち合わせや確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		職員間でその日の活動を振り返りながら支援経過記入等をすすめ、気づきを共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		経過記録を用いて記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		個別課題、運動レク、机上レクなど組み合わせを行い支援している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や管理者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		下校時の確認はもちろん、必要に応じて会議を行う等で情報共有を行っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	現在中高生を主に受け入れているので、就学前までさかのぼって情報共有することはほとんどない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業後利用する事業所へ引継ぎやすいよう、利用者の情報をまとめている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎時や、面談、担当者会議等で伝えあっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の送迎時や、電話対応、面談等を通して支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	感染症対策もあり、十分に行えていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きのロッカーに保管するなど行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		ファイルで保管している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に1回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		